

(資料1) 科目「ビジネス基礎」指導と評価の年間計画

目標	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得させ、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付けさせるとともに、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てる。
内容の構成及び取扱い	指導に当たっては、商業教育全般の導入として基礎的な内容を取り扱うこと、また各種メディア教材などを活用し、経済社会の動向に着目させること。 この科目が商業に関する学科における原則履修科目として位置付けられていることから、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てるとともに、より専門的な学習への動機付けや卒業後の進路についての生徒の意識を高めることが大切である。 このため、商業教育全般の導入として基礎的な内容を取り扱うとともに、単に知識や技術の習得にとどまらず、新聞、放送、インターネットなどの活用、経済活動の具体的な事例を取り上げたケーススタディやグループでの考察などを通して、経済社会の動向に着目させるようにする。また、商業の学習と職業との関連、卒業後の就職先や進路など進路について のガイダンスを充実させるようにする。なお、経済の国際化の進展を踏まえ、基本的な用語は英語表記と合わせて指導し、英語表記に慣れ親しませるよう留意する。

学習指導要領		教科書		配当時間数		小項目		主な学習内容(指導内容)		観点別評価規準			
大項目	項目	単元名	使用教科書項目	下限	上限					関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
(1) 商業の学習ガイダンス	ア 商業を学ぶ目的と学び方	第1章 商業の学習ガイダンス	1. 21世紀にはばたく	6	12	①専門性の基礎・基本の学習の重要性 ②ビジネスの諸活動に必要な豊かな人間性 ③商業の学習分野の概要と学び方 ④専門的能力を身に付けることの重要性		・社会で活躍し、経済社会の発展に貢献する将来のスペシャリストとして必要とされる専門性の基礎・基本の学習の重要性について理解させる。 ・商業を学ぶことを通じて、ビジネスの諸活動を理解し、実践する能力及び倫理観、責任感、協調性など社会の信頼を得てビジネスの諸活動に取り組むために必要な豊かな人間性をはくむことについて理解させる。 ・商業の学習分野であるマーケティング、ビジネス経済、会計及びビジネス情報の4分野の概要、自ら学ぶ目標を定め、自ら学び、自ら考えるなどの主体的な学び方及び障害にわたる継続的な学びの中で専門的能力を身に付けることの重要性についてガイダンスを行い、生徒の学習の動機付けを図る。		・商業の学習について関心をもち、商業を学ぶ目的と学び方、商業の学習分野と職業との関連及び卒業後の進路について探求しようとしている。	・商業を学ぶ目的と学び方、商業の学習分野と職業との関連及び卒業後の進路について探求しようとしている。	・商業の学習に関する資料を収集し、得られた情報をもつ意味を読み取り、整理している。	・商業の学習に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、商業を学ぶ目的と学び方、商業の学習分野と職業との関連及び卒業後の進路について理解している。
	イ 商業の学習分野と職業		2. しっかり楽しく学んでいこう	4	8	①商業の学習と職業との関連 ②卒業後の進路に関するガイダンス		・商業の学習と職業との関連及び卒業後の進路についてのガイダンスを行い、自己の進路について考えさせる。					
(2) ビジネスとコミュニケーション	ア ビジネスに対する心構え	第7章 ビジネスとコミュニケーション	1. コミュニケーション	8	16	①ビジネスマナーの意義や必要性 ②基本的なビジネスマナー ③望ましい人間関係の構築することの意義と必要性 ④ビジネスに対する望ましい心構えと考え方		・ビジネスマナーの意義や必要性について理解させるとともに、挨拶、礼の仕方、電話応対、接客応対など基本的なビジネスマナーを修得させる。 ・ビジネスの諸活動を主体的、合理的に行うための望ましい人間関係を構築することの意義や必要性及び倫理観、責任感、協調性などの豊かな人間性、自己責任や社会貢献の意義などビジネスに対する望ましい心構えや考え方について理解させる。		・コミュニケーションについて関心をもち、ビジネスに対する心構え、コミュニケーションの必要性と方法及び情報の入手と活用について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。	・ビジネスに対する心構え、コミュニケーションの必要性と方法及び情報の入手と活用について探求しようとしている。	・コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、適切に活用したり、ビジネスに対する心構え、コミュニケーションの必要性及び情報の入手と活用について理解している。	・コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、適切に活用したり、ビジネスに対する心構え、コミュニケーションの必要性及び情報の入手と活用について理解している。
	イ コミュニケーションの基礎		2. ビジネスマナー	6	12	①コミュニケーションの必要性 ②基礎的なコミュニケーション方法		・ビジネスの諸活動を円滑に行うためのコミュニケーションの必要性について理解させる。 ・ビジネスの場面に応じた言葉の使い方、話の聞き方、話し方、表情など基礎的なコミュニケーションの方法を習得させる。					
	ウ 情報の入手と活用		3. 情報の入手と活用	3	6	①ビジネスの諸活動に必要な情報の入手と活用 ②情報の信頼性を見極めることの重要性		・新聞、書籍、インターネットなどビジネスの諸活動に必要な情報の所在について理解させる。 ・入手した情報を活用する際の情報の信頼性を見極めることの重要性について、具体的な事例を取り上げて理解させる。					
(3) ビジネスと売買取引	ア 売買取引とビジネス計算の基礎	第5章 ビジネスと売買取引 第6章 売買に関する計算	1. 売買取引の手順 1. 売買に関する計算の基礎 2. 売買に関する計算の応用	8	16	①売買契約の意義 ②売買契約の条件 ③売買契約の締結と履行 ④ビジネス計算		・流通活動における売買契約の意義、売買契約の条件及び売買契約の締結と履行について理解させる。 ・商品の数量と代価の計算、売買に必要な度量衡、仕入原価と売価の計算、利息の計算、外国貨幣の計算と換算及び利益率の計算について理解させる。		・売買取引について関心をもち、売買契約の意義や売買取引の流れ、ビジネス計算及び代金決済の手段について探求しようとしている。	・売買契約の意義や売買取引の流れ、ビジネス計算及び代金決済の手段について探求しようとしている。	・ビジネス計算に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、適切に活用したり、売買取引に関する資料を収集し、得られた情報をもつ意味を読み取り、整理している。	・売買取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、売買契約の意義や売買取引の手段について理解している。
	イ 代金決済		2. 代金決済	3	6	①代金決済の手段と仕組み		・通貨、小切手、手形、クレジットカード、電子マネーなど代金決済の手段と仕組みについて理解させる。					
(4) 経済と流通の基礎	ア 経済の基礎	第2章 経済と流通の基礎	1. 経済のしくみとビジネス	8	16	①生産要素の希少性 ②経済主体の役割 ③レードオフと機会費用 ④経済活動の循環		・土地、資本、労働力といった生産要素の希少性、経済主体の役割、トレードオフと機会費用及び生産・流通・消費などの経済活動の循環について理解させる。		・経済と流通について関心をもち、生産要素の希少性、経済主体の役割、ビジネスの役割と発展、流通の意義と役割、ビジネスの担い手の役割などについて思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。	・生産要素の希少性、経済主体の役割、流通の意義と役割、ビジネスの担い手の役割などについて思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。	・経済と流通に関する資料を収集し、得られた情報をもつ意味を読み取り、整理している。	・経済と流通に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生産要素の希少性、経済主体の役割、流通の意義と役割、ビジネスの担い手の役割などについて理解している。
	イ ビジネスの役割と発展		2. 社会の変化とビジネスの発展	6	12	①ビジネスの意義と役割 ②ビジネスの発展 ③ビジネスの課題		・企業が行う経済的諸活動の総称であるビジネスの意義や役割について、身近な事例を取り上げて理解させる。 ・我が国におけるビジネスの発展について、国際化や情報化など経済社会を取り巻く環境の変化と関連付けて理解させる。 ・環境問題、エネルギー問題、食料問題への対応などビジネスの課題について、具体的な事例を取り上げて理解させる。					
	ウ 経済活動と流通		3. 経済活動と流通	2	4	①流通の意義と役割		・経済活動における流通の意義や役割について、生産から消費に至る役割分担の変化及び小売業の業種、業態の変化とかかわらせて理解させる。 ・生活水準向上や生産の高度化によって生産と消費の隔たりが大きくなり、流通の役割が大きくなっていることについても理解させる。					
	エ ビジネスの担い手	第3章 ビジネスの担い手	1. ものの生産者 2. サービスの生産者 3. 小売業者 4. 卸売業者 5. 物流業者 6. 金融業者 7. 情報通信業者	2	4	①ビジネスの担い手の役割と仕事の概要 ②職業人として求められる倫理		・生産者、卸売業、小売業、金融業、保険業、運輸業、情報通信業など生産から消費の過程にかかわるビジネスの担い手を取り上げ、その役割や仕事の概要に就いて理解させるとともに、求められる倫理について考察させる。					
(5) 企業活動の基礎	ア 企業の形態と経営組織	第4章 企業活動の基礎	1. ビジネスと企業 5. 企業倫理	4	8	①企業の形態と経営組織の種類と特徴 ②起業家精神、ビジネス創造及び経営理念の重要性		・企業の形態と経営組織の種類と特徴について理解させる。また、起業家精神、ビジネスの創造及び経営理念の重要性についても理解させる。		・企業活動について関心をもち、企業の形態と経営組織、資金調達、企業活動と税及び雇用の形態と責任について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。	・企業の形態と経営組織、資金調達、企業活動と税及び雇用の形態と責任について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。	・企業活動に関する資料を収集し、得られた情報をもつ意味を読み取り、整理している。	・企業活動に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、企業の形態と経営組織、資金調達、企業活動と税及び雇用の形態と責任について理解している。
	イ 資金調達		2. 資金調達	3	6	①資金調達の方法及び特徴		・資金調達の方法及び株式の発行や金融機関からの借入れなどがあること及びその特徴について理解させる。					
	ウ 企業活動と税		3. 企業活動と税	4	8	①税の種類と概要 ②申告と納付の概要		・企業活動にかかわる税の種類と概要及び申告と納付の概要について理解させる。					
	エ 雇用		4. 雇用	3	6	①雇用形態の特徴と多様化 ②雇用に伴う企業の責任		・我が国における雇用形態の特徴と多様化について理解させる。 ・雇用の安定や福利厚生など雇用に伴う企業の責任について具体的な事例の考察を通して理解させる。					